

2020(令和2)年度 第5回コンクリート常任委員会
議事録

日 時：2021年1月21日（木）14時00分～15時45分

場 所：WEB会議

出席者：下村委員長，加藤幹事長，綾野，井上，岩城，岩波，上田（隆），上田（多），氏家，内田，鎌田，河合，河野，岸，小林，佐伯，菅俣，田中，津吉，中村，二羽，濱田，原田，久田，平田，前田，松田，松村，丸屋，宮里，横田，渡辺の各常任委員，古市，牧，山路の各常任委員兼幹事，小川（事務局）

配布資料：

- 5-0 2020（令和2）年度 第5回コンクリート常任委員会 議事次第
- 5-1 2020（令和2）年度 第4回コンクリート常任委員会議事録（案）
- 5-2 101 示方書改訂小委員会 委員構成
- 5-3 2021 年度 「重点研究課題（研究助成金）」募集について
- 5-4 令和3年度全国大会開催に伴う研究討論会企画（オンライン）について
- 5-5 2020年度コンクリート委員会 予算執行状況（案）
- 5-6 359 コンクリート構造物の耐凍害性確保に関する調査研究小委員会 委員構成

議 事：

1. 委員長挨拶（下村）

下村委員長より，第5回コンクリート常任委員会の開催にあたっての挨拶があった。概要は以下の通り。

あけましておめでとうございます。

1月16日17日は大学受験（共通テスト）が行われた。長岡は新年早々大雪で，少し時期がずれていれば，受験どころではなかった。自然災害と隣り合わせであることを改めて認識させられた。また，1月17日は26年前に阪神淡路大震災が発生した日である。この震災（自然災害）は，コンクリート技術のその後に大きな影響を与えた。

最近のコロナウィルスも脅威であるが，自然災害の脅威から人命と社会を守ることがやはり土木分野の最も重要な使命であるとあらためて思う。その中で，コンクリート分野の人間がしなければならないことに真摯に取り組み，社会の負託に応えてゆくことがコンクリート委員会の重要な責務である。

2. 次期委員長選挙開票・投票・委員長候補者の決定

加藤幹事長より，これから開票を行うとの説明があり，その後，開票作業のため，古市幹事と一時退出した。

開票の結果，過半数を得た候補者として，下村 匠（現委員長）が報告された。

その後ただちに下村委員長の了承が得られた。

3. 2020年度第4回コンクリート常任委員会議事録の確認【資料5-1】

牧幹事より，第4回コンクリート常任委員会の議事録（案）の確認があり，以下の二点を修正した上で承認された。

- ・ p.3 上から3行目 （誤）「旅費が消化されない」→（正）「旅費が使われない」
- ・ 上田姓が2名いるため，議事録内での記載を区別（出席者の記載に合わせる）。

4. その他

なし.

審議事項：

1. 第1種小委員会の委員構成

(1) 示方書改訂小委員会【資料5-2】

下村委員長より、示方書改訂小委員会 基本原則編の2名の委員追加（牧委員・木野委員）、設計編の1名の委員追加（酒井委員）について説明があり、承認された。

2. 重点研究課題の公募 【資料5-3】

加藤幹事長より、重点研究課題の提案を改めて募った。その結果、本日参加の委員からは提案がなかったが、本日欠席の山口委員から以下の提案があったと説明があった。

・「ジオポリマー」に関連させた内容で、コンクリート委員会（361委員会を中心に）、構造工学委員会、トンネル委員会、海洋開発委員会、地盤工学委員会などの複数の委員会と連携して提案したい。

申請については承認され、申請にあたっては以下の意見を考慮すること。

（下村）タイトルは分かりやすく魅力的なものに、また、土木学会全体として取り組む価値のあるもの、他の委員会からも協力が得られやすいものにしてほしい。

（河野）ジオポリマーに限定せず、もう少し幅広に検討してはどうか。

3. 全国大会の研究討論会【資料5-4】

加藤幹事長より、表記について以下の説明があった。

・研究討論会はオンライン開催となった。その結果、次年度については2年に1回という制約がなくなった。コンクリート委員会として討論テーマを提案したい。

委員からは提案が無かったため、幹事会で検討して申請することが承認された。なお、次回の常任委員会では内容について報告する。

4. その他

(1) 国際関連小委員会

濱田小委員長より、以下の説明があった。

・前回の常任委員会での指摘を踏まえ、委員会内で「国際発信力の強化」について議論した。その結果、以下の2つの対応を始めることとした。

a)日本発の英語論文を紹介するページをHP内に設ける。

b)海外向けのWebセミナーを開催する。次年度は4回程度予定。

・例年実施しているJSCEセミナーは、3月にオンラインで開催する。対象国はインドネシア、モンゴルの2か国。

・来年度は、タイを対象国としてセミナーを開催予定。なお、佐藤先生（早稲田大学）がタイで研究活動を行っており、連携して開催する予定である。

・News Letter が発刊された後、各委員から拡散（展開）してほしい。

上記の説明に対し、以下の質疑が行われた。

河野：前回の常任委員会で、「英文の投稿論文が少ない」という指摘もあった。それに対する対応は？

濱田、中村：国内から発信された英語論文を見える化することで、英文を書くモチベーションに繋がると考えた。

中村：News Letter等の情報拡散については、SNS系を活用するのがよい。

報告事項：

1. 2020年度コンクリート委員会 予算執行状況【資料5-5】

加藤幹事長より、予算執行状況について説明があった。

2. 第3種委員会の委員構成

(1) コンクリート構造物の耐凍害性確保に関する調査研究小委員会（359委員会）【資料5-6】

牧幹事より、359委員会の委員構成における1名の異動に伴う変更について説明された。

3. 講習会、成果報告会の開催案内

牧幹事より、以下の講習会、成果報告会の開催案内があった。

(1) 「鉄筋定着・継手指針」の改訂に伴う講習会（2021年1月27日(水)開催予定、ハイブリッド開催の予定であったが、オンライン開催に変更）

(2) プレキャストコンクリートを用いた構造物の構造計画・設計・製造・施工・維持管理指針（案）講習会（2021年3月18日(木)開催予定、開催方法は検討中）

4. 講習会、成果報告会の開催報告

なし

5. その他

(1) コンクリートのあと施工アンカー工法の設計・施工指針改訂小委員会（257小委員会）の延長
加藤幹事長より、257小委員会の期間延長（半年間程度）について説明があった。

中村委員（257小委員会委員長）より、コロナの影響で集まれず、進捗が遅れた。半年ほど期間延長させてほしい、との補足説明があった。

次回開催：

日時：3月17日（水）14：00～17：00 Web会議

議題は、幹事宛3月3日（水）までをお願いいたします。

以上

【記録：山路 徹】